

ボランティアコーディネーター ニュース	No6 2009年 6月2日 町田市 学校支援センター実行委員会 実行委員長 白井 一生
---------------------	---

支 援

09年度第1回ボランティア コーディネーター説明会・懇談会開催(5/11)

5月11日に09年度第1回ボランティアコーディネーター説明会・懇談会が開催されました。町田市教育委員会ボランティアコーディネーター配置校43校(5/19現在44校)中、34校39名のコーディネーターが参加されました。実行委員会・支援センター設立2年目の活動開始日となり、待ちに待った日となりました。13時から15時まで、教育センター大会議室において熱気あふれる説明会・懇談会となりました。

はじめに、町田市教育委員会指導課 山口茂統括指導主事より、ご挨拶をいただきました。続いて、町田市華道協会の役員の方々がお見えになり、代表して、会長の川添一光様よりご挨拶とご依頼がありました。「華道協会としては是非、生け花を通して、子どもたちに、日本の伝統文化の心も感じてくれたら」とのことでした。そして、お花代についてもなるべく負担のかからないようにしたい旨のお話がありました。(「ライオンズクラブの支援の関係上、実績として6月何校か実施したい」とのことでした。是非、各学校で取り入れていただきたいと思います。)

説明会では、統括コーディネーターの岡田が司会を務め進行しました。

1. 各学校副校長にお願いしたこと(佐藤)
 - ・「ボランティアコーディネータの存在を地域や保護者に知らせ、育成会や地域での会合、行事などとともに参加させ、紹介をする。コーディネーターが地域人材を見つけやすいような環境作り、コーディネーターと密接に連絡を取り合い共通理解を図ることなど」を副校長先生にお願いしたことなどを話しました。
2. 活動日誌の記入について(佐藤)
 - ・活動時間は、1日3時間まで、0.5時間を越えた活動だけを記入する。活動内容についてもあくまでも教育課程内の活動についてコーディネートしたことのみを記入する。又、スクールボード理事とかねている方は、理事会出席は記入しないことなどです。
3. 謝礼の支払基準(岡田)
 - ・09年度における支払基準を明確にしました。10分は0時間、15分以上は0.5時間、40分は0.5時間、45分以上は1時間という計算になります。
4. 自校のボランティア活用状況調査(岡田)
 - ・昨年も実態調査がありました。本年度も予想されます。又、自校のボランティア活用状況をしっかり把握することはコーディネーターとしてとても大切なことと考え毎月ごとの調査用紙を配布いたしました。

説明会終了後、各自アンケートを記入していただきました。記入後、あらかじめ決められたグループごとに集まっていただき、自己紹介やアンケートに基づき情報交換や経験交流を行いました。時間が終了しても続けるグループもあり、熱心に話し合いが行われました。

最後に連絡事項として

①7月3日の研修会への参加の件、②シルバー人材センター、環境資源部との連携の件、③支援センターの年間計画などをお知らせし閉会となりました。

各ボランティアコーディネータの皆さんには、①コーディネーターになられた動機②実行してみたいこと・抱負③課題と考えていること④疑問・質問などについてアンケート用紙に記入していただき、グループで意見交換をしていただきました。

今回は、②の実行してみたいこと・抱負などの項目に限って紹介し、互いにこれからの活動の方向性を持ちたいものです。

◎ 実行してみたいこと・抱負など

- 町田第一小学校
 - ・年々、通常学級に特別な支援を必要とする子どもが増え、担任の先生の負担がかなり大きくなってきています。介助して下さる人材を探したいと思います。各分野のゲストティチャー(例:昔あそび)を探したい。
- 町田第三小学校
 - ・教科書に載っていない【学び】を子どもたちにしてもらいたい。
- 町田第五小学校
 - ・学校で望んでいることと、地域が考えていることは、ぱっと見かなりずれている。しかし、それを【ミスマッチ】として放置すれば、いつまでたってもことは前進しない。ミスマッチながらも交流を続けることで新たな可能性が見えてくるよう努力したい。
- 南大谷小学校
 - ・現在、ボランティア登録をしてくださった保護者・地域の方々に今年度中に1回でもボランティアとして足を運んでもらえるようにしたい。
- 本町田東小学校
 - ・先生方とボランティアとの連携をうまく図りたい。先生方とも色々話すことがコミュニケーションだと思う。
- 本町田小学校
 - ・子どもたちにとって有意義な活動をしたい。
- 南第三小学校
 - ・レコパンで行っている漢字教育、実験、俳句、百人一首など継続学習と授業との連携、授業で学んだことをレコパンで実践できるようなプログラムを作り連携をとりたいと燃えています。
- 南第四小学校
 - ・ニーズの把握と情報の収集が大切と思っています。講演会、キャリア教育など子どもに感動を与えることが出来るような内容のものを考えたい。
- 成瀬台小学校
 - ・色々な世代の人が、ボランティア募集の情報に接しやすい仕組みを作れたらよいなと思います。例えば、WEBサイトなどの利用も検討してよいのではないかと・・・もちろん防犯上の十分な配慮は必要ですが。
- 鶴間小学校
 - ・学校ボランティアの必要性、「学校は、こういうボランティアを地域から欲している」ということを地域に発信したい。又、地域には、こういう人材がいるんだという人材発掘をしていきたい。学校と地域の橋渡しになれば。
- 高ヶ坂小学校
 - ・先生が何を望んでいるのか。地域や保護者の方がどれくらい参加意欲があるかを確認していくところから始めていき、今年は土台作りを中心にしていきたいと思います。

● 鶴川第一小学校

- ・ 今年度は、学校にいる日時をあらかじめ決めて先生方に周知していただき、今まで以上に先生方と話し合いを持ち、関わりを深め、ボランティアコーディネーターとしての役割を果たしていきたいと考えます。又、20分休みに行っている読み聞かせをより充実させ、子どもたちの読書意欲の向上を目指したいです。

● 鶴川第二小学校

- ・ ボランティア活動の定型化(どうしても教師では担いきれない分野は何か)

● 鶴川第三小学校

- ・ 【ボランティア指導員・地域有識者・人材バンク】を作成し、初年度目標60名の登録を計画している。指導科目を50項目以上、地域ボランティア指導員100名以上を集める。

● 鶴川第四小学校

- ・ まず今年度は、学校の教育方針をよく理解した上で校長先生や副校長先生から依頼のあった活動についてコーディネーターとして人材を探して行きたい。又、内容についても充実した時間になるよう心がけたい。

● 金井小学校

- ・ 子どもたちに有意義な活動となるよう、出来る範囲で努力していきたい。

● 大蔵小学校

- ・ 学校教育あるいは、日常の教師の教育活動ではとても不可能な経験や学習を通じて、児童・生徒に大きな感動や【やる気】を起こさせるような内容を準備して学校教育に協力してみたい。
(例) 色々な分野で成功したり、記録を立てたりした、実力ある方に体験や活動の実態を話してもらったり児童・生徒にも出来れば実体験させたい。

● 忠生第一小学校

- ・ 総合的な学習を発展。生活力をつけさせる。
- ・ 学区の人々に、より多く来ていただき教育活動に携わってもらい、子供たちと声を交わし顔を覚えてもらい、安心できる地域で伸び伸びと育てて欲しいと思います。

● 小山ヶ丘小学校

- ・ 実際に先生から【こんな人を探して欲しい】【こんな授業をしてみたい】など依頼を受けてコーディネーターしてみたい。授業数の関係で新しく何かをするのは難しいと思いますが。

● 町田第三中学校

- ・ 伝統行事を生徒に伝えてみたい。茶道、華道、三味線など。

● 南大谷中学校

- ・ 周辺地域のボランティア希望者の掘り起しと、学校側にその方々を紹介・認知してもらうこと。学校側のボランティアニーズをボランティア希望者に伝えるシステム作り、ボランティア希望者をボランティア参加者にしてもらうこと。

● 南中学校

- ・ 学習の遅れ(小学校からの学習のつまずき)に支援することで、意欲を高められたら良いと思う。・ 教師以外の地域の大人たちと出会うチャンスを作りたい。・ 救命講習。

● つくし野中学校

- ・ 学校とよく話し合っ考えてみたいです。

● 南成瀬中学校

- ・ キャリア教育などにゲストティーチャーをしていただければ。・ 中学生になるとレクリエーションの時間はないようですが、ニューススポーツキンボールなどを紹介したい。

● 薬師中学校

- ・ 待つのではなく、自分から積極的に働きかけたい。具体的にはまだ考えていませんが。

● 鶴川中学校

- ・ 中学校では、授業時間の確保も難しい状態ですので、総合の時間など係わりは少ないかもしれませんが、部活の外部指導者や「観て!見て!鶴中」といった PTA 行事など中学校ならではの要請に応じていけたらと思います。

● 真光寺中学校

- ・ 不登校の生徒や学校が楽しくない生徒に少しでも楽しく学べる場を作りたい。
- ・ 現在【サプリメント】として生徒に対して英語、数学の補習授業を実施しています。今後も長く続くよう行って生きたいと思います。

● 忠生中学校

- ・ 子どもたちが落ち着いた環境で学習したり、より興味を持ったりして欲しい。
- ・ もらえるような授業になるようなコーディネートが出来ればよいと思います。

● 小山田中学校

- ・ 4月よりはじめた朝学習サポートの充実、これからとの組みたいと考えている(学校も)補習授業、TTなどを通して、子どもたちに学ぶことの楽しさを伝えたいです。様々な人とのかかわりを通して、生活の幅を広げてもらいたいです。

下記の案内が届きました。全国規模でのコーディネーター協議会です。
ぜひご参加ください。

1. 主催 :全国学校支援地域コーディネーター協議会
2. 後援 :文部科学省
3. 日時 :平成21年6月24日(水)
4. 場所 :国立オリンピック記念青少年総合センター (カルチャー棟小ホール)
5. 日程: 10:30 開会
10:45 基調講演 「これからの生涯学習とコーディネーター」
講師 東京学芸大学准教授 松田 恵示氏
行政説明、実践研究発表
会場参加型セッション
15:50 お礼の言葉

※ 参加を希望される方は、6月17日までに電話で学校支援センターへお知らせください。
●電話 722-3111 内線(3608)

● シルバー人材センターとの連携について

本年度から【シルバー人材センター】と連携を図り、様々な角度から学校支援、人材支援をしていただいております。すでに何校もクラブ活動、補習授業などでお世話になっており、感謝の言葉も聞こえてまいります。しかし、当初、各学校にお願いしましたように、「学校が個別にシルバーの方と折衝し、ボランティアをお願いすることは厳禁」となっております。互いの信頼関係のもとでの連携であり、充分ご注意くださいようお願いいたします。なお、現在続いている場合は、速やかにシルバー人材センターへ報告するようお願いいたします。